

新年度を迎え、今年も新しい仲間が増えました！

美所が加わりました！

目黒区高齢者センター



皆さんこんにちは、目黒高福の小林です。4月から指定管理者として区から運営を引き継ぎ早や2ヵ月が過ぎようとしています。少しずつですが職員もセンターの雰囲気慣れ、ご利用者の皆様も落ち着きを取り戻されつつある、今日この頃です！

現在、職員が17名、一日130名程度のご利用者の方が日々楽しい時間を過ごされています。今後、ご利用者の方に満足して頂けるよう多彩な事業を展開していく予定です。興味のある方は一度見学にお越しください。

あ、お勧めは3月下旬～4月初旬の桜の季節です。目黒川沿いの桜街道は今年も最高一でした！

中野地域包括支援センター

みなさん、こんにちは。中野地域包括支援センターの染谷です。中野包括は、4月から中野区より運営を引き継いだセンターです。高齢者人口も「1万人」と一番多い地域で、相談件数も多いですが、ご利用者に安心していただける地域の相談窓口であるよう、地域との連携を深めつつ、取り組んでいきたいと思っております。また、職員同士の連携もさらに深め、皆で、地域の人々から信頼されるセンターを作っていきたいと思っております。



新事業所責任者のご紹介



美濃辺 慎一

(デイホーム奥沢)

1969年、すべてはここからはじまります。最初に私がうまれました。

7月、アポロ11号でアームストロング船長が初めての月面着陸。

8月の暑い夏は甲子園決勝延長18回再試合(松山商VS三沢) 太田幸司。

10月には金田正一が伝説の400勝を達成しました。歴史に残る出来事がいくつもあります。

2002年、笹幡デイで高齢者介護の仕事を初めました。ゴジラ松井も読売巨人軍からNYヤンキースに転職した年です。

今回、デイホーム奥沢に配属になりましたが、スタッフと力を合わせ、地域に根付いたサービスを構築し笑顔の多いデイホームにしたいと思っております。秋には日帰り旅行を予定しています！お手伝い募集しますのでその際はご協力をお願いします。



須賀 千春

(中野区立多田
高齢者在宅サービスセンター)

平成21年2月16日に多田高齢者在宅サービスセンターに異動し3ヶ月が経ちました。

多田デイサービスは、多田小学校の中にあるため、ご利用者、職員と毎日子どもの元気な声を聞きながら仕事をしています。

3月には、小学校の卒業式に参加したり、4月には新1年生に皆で作成した“おめでとう貼り絵”をプレゼントをするなど、新しい企画やチャレンジを職員全員の力を借りながら楽しく過ごしています。

明るく、楽しく、元気よく、そして趣味であるサーフィンをしながらパワフルに頑張りたいです。そして仕事、趣味でストレス発散して・・・多田予算達成を職員とともに目指し、サービスの向上の為に頑張っていきたいと思っております。



第一回事例研究発表会が開催されました！！



3月29日（日）に、当法人はじめての事例研究発表会が、三軒茶屋しゃれなあとにて開催されました。

事例発表会の参加団体は6団体。日頃のサービス成果をスライドにのせて、いずれの団体も力のこもった素晴らしい発表をしてくださいました。

当日は桜が咲き誇るなか、44人もの職員に加え、理事長をはじめ理事・評議員、監事など7名もの来賓においでいただきました。また、事例発表会の合間に、短い時間ながら懇親会を開催し、理事の先生方などとの談話や、職員同士の事業部を超えてのふれあいなど、親睦を深める貴重な機会ともなりました。

審査方法



来賓を含め各参加者から、一番心に残った作品を一つ選んでもらい、投票していただきました。その結果、一番支持率の高かった団体を「最優秀賞」、二番目に支持率の高かった団体を「優秀賞」として表彰しています。

また、理事長が優秀と感じた作品を「理事長賞」として選定していただきました。

受賞作品をご紹介します



最優秀賞

特別養護老人ホーム等々力の家 介護課



- 発表者；等々力の家 介護課
尾無 和久さん・神吉 大輔さん
- テーマ；やる気向上とADLの因果関係



優秀賞

豊玉高齢者センター



- 発表者；豊玉高齢者センター 森 眞由美さん
- テーマ；ファイブコグによる評価発表



理事長賞

霧が丘地域ケアプラザ デイサービス



- 発表者；霧が丘地域ケアプラザ デイサービス
市村 由紀子さん・若林 麻紗美さん
- テーマ；認知症対応型通所介護の実際



リレートーク

黒木保代 （等々力の家デイホーム）



はじめまして。等々力の家デイホームの黒木です。デイホームで働き始めて1年半が経ち、少しずつ仕事を任せてもらえるようになりました。

最近では歩行練習の達成感を味わって頂く為に、“遊歩倶楽部会員証”を制作しました。皇居1周5kmを目標に歩こうというカードで両陛下の似顔絵入れ作ったのですが、思いのほか好評を受け、とても嬉しかったです。

これからも先輩方に習って、ご利用者に楽しんでもらえるようなデイホームにしていきたいと思っています。



相澤 亜友子 （仲町高齢者センター）



はじめまして。相澤亜友子と申します。昨年の11月に入社し半年が経ちました。福祉の仕事を始めたくっかけは祖父母と一緒に暮らしていた事もあり、お年寄りと接する事が好きだからという単純な理由でした。

特別養護老人ホーム、グループホームを経験し、奉優会仲町高齢者センターへ。新しい環境の中で、毎日が「学び」の連続です。まだまだ知らない事だらけなので、職員の方、ご利用者から沢山の事を吸収して、半年後には一周り成長出来ている様に頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



発表事例のご紹介



「高福センターの役割と地域貢献」

堀江高齢者福祉センター 平嶋 美幸さん

高齢者センターは、主に60歳以上の元気な高齢者が「いきがい」「趣味」「体力づくり」などのために、自ら利用する施設です。具体的な活動としては、事業の開催、ご利用者同士のサークル活動のサポート、健康相談、地域とのネットワークづくりなどをおこなっており、地域の高齢者を元気にしていくことで、地域に貢献しています。そのような中、現在センターが抱える課題は、ご利用者の高齢化です。ご利用者により長くセンターを利用していただくこと、そしてより多くの方にセンターを利用していただくことを目指し、日々取り組んでいるという発表でした。

「ご利用者様のやる気向上と

ADLの向上に関する因果関係について」

等々力の家 尾無 和久さん・神吉 大輔さん

現在、等々力の家にて取り組んでいる「わたらしい生活の実現」がご利用者にもたらす効果を、「Mさん」の事例をもとに発表してくれました。

Mさんは昔ソーセージ作りの仕事をしており、それを知った職員が施設内の調整やその他協力を得て、施設でのソーセージ作りを実現。その結果、Mさんの発言内容が以前と比べポジティブに変わり、リハビリにも積極的に取り組み、ADLにも明らかな改善が見られました。

また、このようなサービスを提供するために活用している「ケアシート」についても併せて紹介いただきました。

「センター方式による気づき」

介護技術研究プロジェクト

小林（大悟）さん・岸さん・杉原さん・長井さん

介護技術研究プロジェクトというのは、事業部の枠を超えて、介護技術を研鑽したいという職員が集まり、自ら研究を深めるプロジェクトです。昨年度は、「センター方式」という認知症の人のためのケアマネジメントシートを用いて、「認知症ケア」に関する研究を進めました。その成果を実際のシートを用いて発表してくださいました。センター方式を活用することで、サービスを提供するなかでの気づきが得られ、より認知症のご利用者への理解が深まったという結果が報告されました。

「kirigaoka好縁ひろば」

霧が丘地域ケアプラザ所長 奈雲 美徳さん

霧が丘地域ケアプラザ地域活動交流事業部門では、地域の社会資源（人的資源）の発掘によりインフォーマルサービスの開発を目指しています。霧が丘の地域性は団塊世代の人口比率が高いことです。そのため団塊世代の地域ネットワークづくりをとおして、地域のニーズをケアプラザに集約させる仕組みを確立し、独自のネットワーク構築に取り組んでいます。現在は「kirigaoka好縁ひろば」というプロジェクトを地域に住む団塊世代職員が中心に発足させ稼働中です。「好縁ひろば」とは「好みの縁で豊かな仲間をつくり地域住民の絆を広めていく広場」となっています。

「ファイブ・コグテスト結果報告」

豊玉高齢者センター 森 眞由美さん

ファイブコグテストというのは、集団で行う認知症検査で、認知低下のスクリーニングや、認知症予防プログラムの効果確認に使うことができる検査手法です。

豊玉高齢者センターでは、約4カ月間「脳を活性化する英語講座」を実施しましたが、その際、ファイブコグテストにて効果の確認を行いました。

講座の前後にテストを実施した結果、開催した英語講座は「記憶・言語領域での認知機能向上に効果があること」が判明しました。今後もこの手法を用いて認知症予防事業を確立していきたいとのことです。

「認知症対応型通所介護の実際」

霧が丘デイサービス 所長 市村 由紀子さん

相談員 若林 麻紗美さん

霧が丘地域ケアプラザのデイサービスは、宮前ふれあいの家と並び、昨年4月より当法人初の認知症対応型デイサービスを運営しています。法人初ということで、試行錯誤を繰り返しつつも、さまざまな認知症ケアのプログラムを取り入れ、認知症ケアに取り組んでいる様子が報告されました。また、現在サービスを提供しているご利用者の事例に基づき、これまで実施してきた認知症ケアの効果と、その方への今後の働きかけなどをお話いただきました。

リレートーク

尾無 和久 （等々力の家）



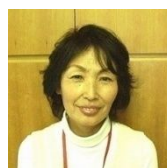
みなさん、始めまして平成16年度から、等々力の家で介護をしている尾無和久と言います。

あっという間に5年近く経ちまして、私は沢山の知識とご利用者の

笑顔などをばねに頑張ってきました。最近では、あるご利用者の論文発表に携わる機会がありまして、見事最優秀賞をもらうことが出来ました。これもご利用者のおかげだと思っています。

この経験を生かして、次にステップアップしていきたいと思っています。

鈴木 かよこ （等々力の家訪問介護ステーション）



等々力の家訪問介護ステーションの鈴木かよ子です。

家庭に30年以上も収まっていて、全く畑違いの仕事で当初は戸惑い自信喪失で自問自答の日々を過ごし入社8年目を迎えました。ご利用者の数だけサービスも多種多様です。何年たっても新しいご利用者は常に緊張し新たな思いで接しています。若い人達からも学び、教える頂く事も多々あります。

これからも「初心」を忘れぬよう今後も頑張っていきます。

入社式が行われました！

平成21年4月1日、入社式が行われ、本年度は、星友梨職員が入社いたしました。1か月の研修期間を終えて、配属先が決定しました。皆さん、よろしくお願いいたします。

新入社員のご紹介



はじめまして。この度、等々力の家の介護課に配属になりました、新入社員の星友梨です。配属されて数日が経ちましたが、毎日新しい発見や学びが多く、充実した日々を送っております。

しかし未だ緊張がとけず、ガッチガチの状態で業務を行っています…。まだまだ分からない事だらけですが、とにかく楽しみながら仕事が出来たらと思っています！

これから頑張っていきますので、どうぞ宜しくお願い致します。



星 友梨

(等々力の家 介護課)

重要

新型インフルエンザ対策

現在、マスコミで報道されている新型インフルエンザに感染しないため、感染を広げないために、各自次のことに気をつけましょう。

予防
措置

- 手洗い・うがいを徹底する。
- 咳やくしゃみが出るときは、マスクを着用する。
- できるだけ人混みを避け、外出を避ける。

感染が疑わ
れる場合

ご利用者・ご利用者のご家族・職員・職員のご家族・関係者などで、次の症状が見られる場合は、法人のマニュアルに従って、ただちに上長に連絡し、指示を受けてください。
●38度以上の発熱 ●鼻水、鼻づまり ●のどの痛み ●咳



手洗い・
うがいの
徹底を！

一般の人の相談先

- 発熱相談センター
TEL 03-5320-4509
- または最寄りの保健所

参照：厚生労働省

普通救急講習を開催しました！

21年3月に、応急手当普及員の資格を持つ岡本俊職員（弥生高齢者在宅サービスセンター）が普通救急講習会を開催してくださいました。講習には、ご利用者のご家族の他、渋谷区立ひがし健康プラザ高齢者在宅サービスセンターとデイホーム宮前ふれあいの家の職員の皆さんが参加いたしました。

岡本職員より

「ご利用者のご家族、他事業所に告知し7名の方が参加してくださいました。少人数ですが、地域への応急手当普及、法人職員への普及ができたと思います。今後も、普及・発展させていきたいと思っています。」



当日の様子（左）

ご寄附をいただきました！



■目黒区高齢者センター

ギャラリーセントアート
佐藤 寛文 様

「ピカソの復刻版画」

ありがとうございました。
ご覧になりたい方は、目黒区
高齢者センターにて！

普通救命講習

講習内容は、成人の心肺蘇生を柱とした3時間の講習です。応急手当の重要性の人形を使用し、人口呼吸・心臓マッサージの基本的な心肺蘇生法、AEDを使用した心肺蘇生法、止血法について学びます。

編集後記

はじめまして。4月より奉優会に入社いたしました企画事業推進部の築山（ツキヤマ）と申します。これから皆様とたくさん交流ができればと思っています。よろしくお願いいたします。

